１．基本情報

体験談記入日（☆）	2024 年　1　月　1　日
大阪大学での所属学部/研究科（☆）	経済学部
留学時の学年（☆）	学部 4 年
派遣ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ名（☆）	□　交換留学　　□　研究留学助成金 □　その他　（　　）
渡航先国名・地域名（☆）	フランス
滞在都市（☆）	リール(フランス北部)
留学先大学等名（☆）	EDHEC ビジネススクール
留学先での所属学部/研究科（☆）	M1 Programme Grande Ecole
留学先で主に使用した言語	英語
渡航先への入国日（☆）	2023 年　8 月　29　日
渡航先からの出国日（☆）	2023 年　12　月　31　日
渡航先国での滞在期間（☆）	4 カ月
同伴者の有無・続柄・年齢等	無
その他	無

２．留学先の大学に関する情報

２．１授業に関する情報

履修科目名称 履修期間 授業時間（〇分×△回） 授業形態（講義・セミナー） 取得単位数	BUSINESS GAME REVAS 11 月～12 月（約 10 日間） Opening・Closing session それぞれ 1 時間 グループのペースで課題を進める形態 1 週間で約 40 時間の活動量 2ECTS
履修科目名称 履修期間 授業時間（〇分×△回） 授業形態（講義・セミナー） 取得単位数	FINANCIAL STATEMENT ANALYSIS 9 月～12 月 180 分×12 回 講義 6ECTS
履修科目名称 履修期間 授業時間（〇分×△回） 授業形態（講義・セミナー） 取得単位数	MANAGING HUMAN CAPITAL 9 月～12 月 120 分×12 回 講義 4ECTS
履修科目名称 履修期間 授業時間（〇分×△回） 授業形態（講義・セミナー） 取得単位数	MARKETING MANAGEMENT 9 月～12 月 120 分×12 回 講義 4ECTS
履修科目名称 履修期間 授業時間（〇分×△回） 授業形態（講義・セミナー） 取得単位数	STRATEGIC MANAGEMENT:PRINCIPLES AND PRACTICE 9 月～12 月 120 分×12 回 講義 4ECTS

留学生（日本人）の割合	1%未満 クラス 45 人の内日本人は 1 人のみ。 加えてアジア圏からは台湾から 1 人来ていた。 M1 のコースはアジア人が少なかった様に思える。 BBA はフランス人の割合が多く、M2 のデータサイエンスのコースは中国・韓国・インド人が多いと聞いた。
成績評価の方法（試験・課題の数や分量等）	グループプレゼン・中間試験・期末レポート・期末試験（授業による）
履修科目の制限等（あれば）	20ECTS 以上
（英語圏以外の場合） 英語の使用頻度、英語での授業科目の充実度等について	全ての授業が英語で開講されていた。
語学に関するｻﾎﾟｰﾄ（特別授業、ﾁｭｰﾀｰ、ｴｯｾｲﾗｲﾃｨﾝｸﾞに関するｻﾎﾟｰﾄ等）	特になし。
授業内での留学生に対するｻﾎﾟｰﾄ等	特になし。
その他	

２．２福利厚生に関する情報

大学内での福利厚生施設(生協・購買・食堂)について	食堂と購買がそれぞれ 1 フロアずつある。 自販機で飲物や軽食（ワッフルやスナック）は購入可能。
図書館について	1 階に小さめの図書館が存在する。
保健ｾﾝﾀｰ等の有無	有
ｸﾗﾌﾞ・ｻｰｸﾙ等について	1 セメスターの交換留学生は参加不可。 1 年間の交換留学生や正規留学生は参加可能。
留学生へのｻﾎﾟｰﾄ	特になし。
オリエンテーション等学校主催の行事について	9 月の始めに 2 日間開催された。 Openup という学生団体が定期的に旅行やパーティーの案内を Facebook や Whatapp で流している。
現地の学生との交流について	全ての授業にグループ活動があった為、授業で関わる機会がある。
他の留学生との交流について	グループ活動や旅行で関わる機会があった。現地の留学生よりも関わりが深かった。
学外での活動について（地域コミュニティー活動等）	不明
長期休暇中の過ごし方	旅行やフットボール観戦。
その他	

３．ビザ・入国・渡航直後の手続きに関する情報

ビザの種類（☆）	学生ビザ
ビザの取得手続について（申請方法、申請から取得までの所要期間等）（☆）	東京のフランス大使館に申請手続きに行く。 （事前に申請日時の予約をするのがおすすめ） 申請書類は各自事前に用意する。書類の指定（レターパックの色や書類内容の記述）が細かい為、事前に経験者のブログ等を参考にするのがおすすめ。 7 月末に申請し、8 月中旬に取得。
利用航空会社	シンガポール航空
入国の際の現地空港名	シャルルドゴール国際空港

空港から滞在先への移動について（交通手段や所要時間）	シャルルドゴール国際空港⇒パリ：Uber パリ⇒リール：TGV（フランスの新幹線）
入国審査について（提示した書類、審査官からの質問等）	パスポートとビザ （特に質問はなし）
渡航後の手続き(在留届の提出、外国人登録等)	在留届のオンライン申請、長期学生ビザを有効にするオンライン手続き、セキュリテ・ソシアルへの登録
その他	

４．金銭に関する情報

奨学金の受給	有
奨学金名	寺浦さよ子奨学会
奨学金月額受給額（円）	10 万円
入国時に用意した金額	€200
ｸﾚｼﾞｯﾄｶｰﾄﾞについて（ｶｰﾄﾞ会社名・日常の利便性）	VISA 2 枚 （基本的に VISA と MASTER CARD が使える）
留学中に利用した銀行名	BNP Paribas
現地での銀行口座開設について（開設の有無・手続き等）	オリエンテーションの日に担当の方が来て開設可能。 ただ、送金の手続き等細かい設定で店舗に行く必要あり。
ﾃﾞﾋﾞｯﾄｶｰﾄﾞの使用について	使用可能
日本からの送金方法について	WISE を使用した
1 ヶ月の生活費（目安）	€700（家賃 490€込み）
その他	

５．暮らしに関する情報

５．１住居に関する情報

住居の種類(学生寮（一人部屋・二人部屋）・ｱﾊﾟｰﾄ等)	シェアハウス（1 人部屋にシャワー付） キッチン、洗濯機、トイレ等は共用
家賃	€490
住居を探した方法・時期	大学の寮が予約出来なかった為、Studapart で予約。
荷物の運搬方法 （ハンドキャリー、国際宅配便（会社名、プランも）等	機内持ち込み可能なスーツケース（36L）1 つ 小型のリュック 1 つ
その他	

５．２　食生活についての情報

普段の食事（自炊・食事つき学生寮等）	自炊
1 ヶ月の食費	210€
その他	

５．３　その他日常生活に関する情報

電話について	Free（電話通信会社）の SIM カードを利用。
ｲﾝﾀｰﾈｯﾄについて（Wi-Fi 環境等）	学校と自宅は WIFI 完備。
ｺﾝﾋﾟｭｰﾀｰについて	日本から持参。
郵便について	学校や La Poste から送る事が可能。
交通機関について	日常生活は TRAM または METRO。 旅行の際は、TGV または OUIGO。
治安について	住んでいた ROUBAIX は現地の人からも治安が悪いと言われているが、警戒をしておけば問題ない。
保険について	ACS
医療機関・薬について	薬については日本から持参するのをおすすめする。
気候と服装について	9 月下旬に急に寒くなる（10 度前後）

	12 月の上旬から更に寒くなる(0 度前後) 9 月以降は常にダウンを着用していた。
普段の買い物について	Leclerc や Carrefour（Leclerc の方が大容量で安かった）
娯楽・行事について	9 月の上旬に La Braderie de Lille というお祭りがある
日本語の使用について	殆ど使う機会はない
日本から持参して特に役立ったもの/持参したら良かったもの	スリッパ、エコバッグ、レンジで使用可能な容器は日本から持参しといて良かった。
留学前にしておいて良かったこと/しておけば良かったこと	マイナンバーカードの持参、変圧器の購入は日本で行なうべきだった。ドライヤーや炊飯器がシェアハウスになかった為、事前にどういった電化製品があるのかは調べておくべきだった。
その他	

６．就職活動に関する情報

留学前の就職活動について（セミナー参加、自己分析、業界研究、就活サイト登録等）	特になし
留学中の就職活動について（海外からの情報収集、企業へのｺﾝﾀｸﾄ、ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟ等）	特になし

７．語学の学習方法について

留学前に準備したこと、語学能力試験対策等	IELTS 受験、Native camp の利用
留学中の学習方法、工夫したこと等	アジア圏の学生ではなく、ヨーロッパや南米から来ている学生と積極的に交流を行った。また、彼らと会話する中でよく聞くフレーズを覚えて活用していた。
留学後にどれぐらい語学力が伸びたか（主観的な実感や具体的なスコア等）	会話のレベルは向上した。

８．その他

留学して得られたこと	マイノリティの経験と外から日本を見る経験を得られた。この経験に付随して、度胸、日本に対する強い関心、日本と比較した他国の歴史・文化・情勢の理解を得られた。
留学中に困ったこと	12 月上旬に雪が積もる程寒くなり風邪を引いた際は中々治らず苦労した。
留学前/留学中に参考になったウェブサイト等	VISA 申請のブログ、携帯と銀行の契約解除方法のブログ。

９．留学体験談・エッセイ（様式任意）
留学を決めた理由、現地で履修した授業およびその感想、楽しかったこと、大変だったこと、これから留学を考えている後輩へのメッセージ等を１～２ページ（様式任意）で記載してください。また、留学中に撮影した写真数枚（本人も映っているもの）も合わせて提出してください（国際交流室の HP や Newsletter に掲載させていただく可能性があります）。

【留学を決めた理由】
高校生の頃から海外で生活をする事に関心があったが、新型コロナウイルスの影響で大学入学後は留学を考えていなかった。しかし、このまま何となく海外で生活をしたいという思いを持ったまま年を重ねるとどこかのタイミングでそれまで積み上げてきたものを捨てて海外に行く自分が容易に想像できた為、留学を決めた。また、大学生活で積み上げてきたものはあるが、今後行くよりも今行く方が失うものも少なく、更には様々な支援を受ける事が出来ると考えていたのも留学を決断した理由の 1 つである。

【授業について】
EDHEC ビジネススクール（リール）には大阪大学と異なる特徴として主に 3 点あると感じた。
1 点目は、経営学に関わる授業が殆どであるという点である。EDHEC では企業戦略、マーケティング、人事等に関わる授業が履修可能であり大阪大学の様に経済系の授業は殆どない。私自身は経営の方に関心があった為、授業は興味があるものが多かった。
2 点目は、クラスが少人数の点である。私が受講した授業の殆どは 1 クラス 45 人前後であり、発言の機会も多く教授との距離も近かった。
3 点目は、全ての授業にグループワークがある点である。どの授業でも毎週の課題や期末レポートでグループワークが課されており、メンバー間で公平にタスクを振り分け期限内に進めるのは時に困難であった。

【楽しかった事】
休暇中に友人と様々な国や都市を訪れる事が出来たのは楽しかった。その国の伝統料理を食べたり簡単な単語を覚えながら多くの場所を訪れた。また、1 人で旅をした際は現地のホステルや観光スポットで新たな出会いがあり非常に刺激的だった。
また、普段の生活では週末友人とバーや家に集まりゲームをしたりお酒を飲みながらお互いの国の文化や政治、将来の夢等について話すことが出来て非常に楽しかった。

【大変だった事】
幸い留学当初から友人にも恵まれ普段の生活の上で大変なことやカルチャーショックはなかった。
ただ、期末テストに関しては非常に苦労した。期末テストは 12 月中旬に行われたのだが、その時期には全ての授業で期末レポートも課されておりレポートとテストの準備を並行して行う事は大変であった。また、12 月上旬からは雪が積もるほど寒くなった為、元々寒い所が苦手な私は苦労した。

【後輩へのメッセージ】
今回の留学が実りあるものになった理由を端的に表すと、「マイノリティの経験を通して国や自己を相対化出来た事」にあると感じています。そもそもフランスのリールという街に日本人が少なく、加えて EDHEC ビジネススクールにも日本人が 5 人前後しかいなかった為、基本的に関わる学生は日本人以外でした。また、私のクラスはポーランド、イタリア、スペイン等ヨーロッパから来ている学生が殆どだった為、アジア圏からの学生も僅かでした。こういった経験は日本で生まれ育った私にとっては初めてだった為、自分と異なる部分が多い学生との交流を通して日本がどういう国なのか、自分とはどういう特徴を持っているのかという事が留学前よりも明確になりました。日本で暮らしているとマイノリティを経験する機会は少ないと思うので、留学はそういった機会を作り出すいいきっかけになると思います。加えて、英語を学ぶという点ではフランスという選択はベストではないと思いますが、マイノリティを経験するとい

う意味ではベストな選択であると思います。
学生の内であれば奨学金等で金銭的な援助を受ける事も可能であり、学校という枠の中で日本以外の国の人とも交流する事が容易です。
現状少しでも留学に興味があれば、是非大学時代の留学を検討してみてください。